

熊野社

祭神

素盞鳴尊 連玉男命
五十猛命

字宮の前の村社なり永萬元年の勸請なり

諏訪社

祭神

健甕名方命

字宮の前の村社にて寶曆十三年八月里人の勸請に係り舊供野村の産土神なり

春日社

祭神

天兒屋根命

字松門の村社なり承應三年十二月創立舊供野村の産土神なり

洞岩寺

曹洞宗

本尊花嚴釋迦如來

字城に至り昔鎌倉建長寺の大學禪師此寺を興せしが後中絶して廢寺の姿なりしを中頃富草村關昌寺末として再び法燈を繼ぐに至れり

慈恩院

曹洞宗

本尊釋迦如來

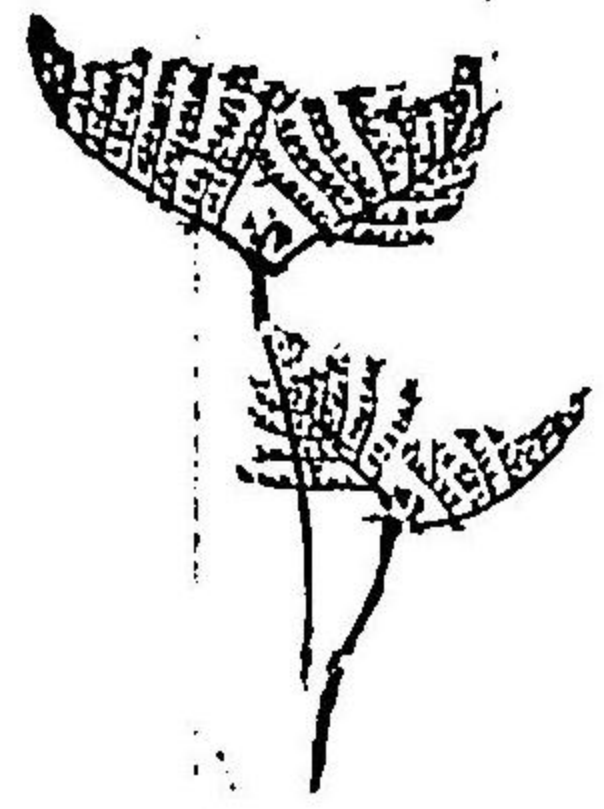
字古瀬に至り座光寺村耕雲寺末にて天正二年の創立なり

伴野庄

伴野庄後に伴野村といふ其起原頗る古く松尾の城主小笠原長清の始めて信濃に封せらるゝや先づ伴

神 稻 村

野の庄に入部せりといふ長清の子長經の三男に時長あり供野六郎と稱して此地に居る六郎より後三郎
 時直出羽守長泰又三郎泰久出羽守長房相繼ぎ長房在京し供野の庄は上西門院の御領に附けらる、事は
 東鑑にも見えたり



田村

田村の内三百石は年天正間虎岩村宮内正憲の二男虎岩平太夫の所領なりしが事ありて自殺し後知久直
 政の二界善右衛門の分知となりし



田村

河野村

諏訪社

祭神 建御名方命
字大宮に在る村社なり慶安年間の創立に屬す

泉龍院

曹洞宗 本尊十一面觀世音

永享十年といへるに字垣外へ創立せり開山は物外といひ未だ微々たりしが十七世峯國の時に至り寶永元年地頭知久監物より米二十石を寄附あり今の地へ移轉し後又二十二代英千の時に至り寺門の大破を憂ひ知久氏の寄附に依て再興せり斯の如く當時は知久家累代の歸依淺からざるを以て當寺は同家の武運繁榮の爲め毎年一月十八日を以て祈禱般若を修し累代の回向を爲すを例とせり

生田村

神社

前田 諏訪神社 祭神 建御名方命

創立不詳

宮の前 諏訪社 祭神 建御名方命

此社は元和六年の勸請なり

白澤山 白澤社 祭神 大山祇命 建御名方命

此社は大永元年の創立にして明治三十八年五月中谷諏訪社と合併し白澤社と改む

天王 諏訪神社 祭神 建御名方命

創立不詳

赤休 諏訪社 祭神 建御名方命

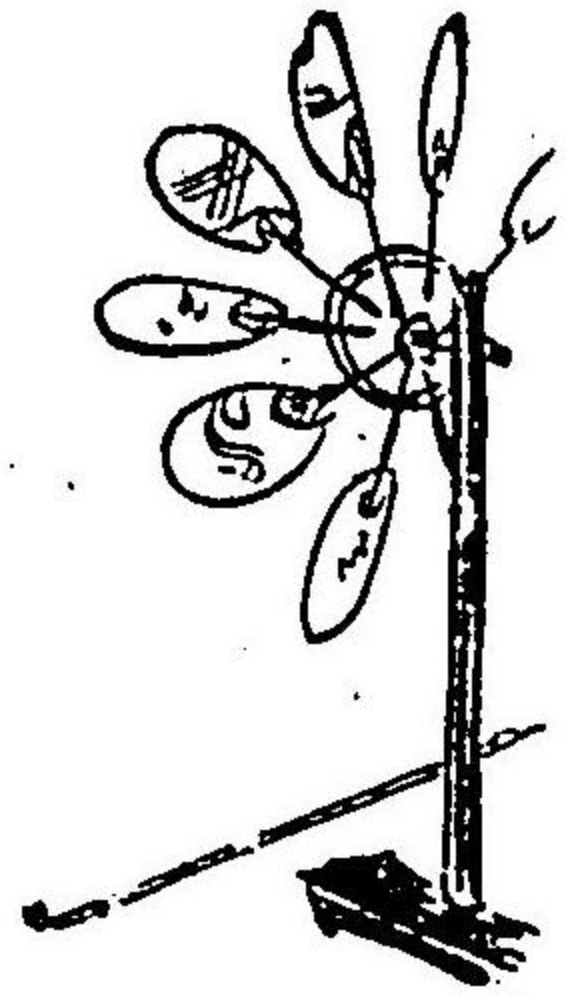
創立不詳

嶺岳寺

河野村、生田村

曹洞宗 本尊聖観音

字福與に在り河野村泉龍院末として天正十七年春鏡和尚の開創なり



大鹿村

神社

大河原字滿平	松平社	祭	神	譽田別尊
同 字上藏	野宮社	祭	神	建御名方命
同 字釜澤	宇佐八幡社	祭	神	應神天皇
同 字市塲	諏訪社	祭	神	建御名方命
同 字桶谷	白澤社	祭	神	伊弉那岐尊外二體
鹿鹽 字梨原	葦原社	祭	神	建御名方命
同 字鹽川	市場神社	祭	神	譽田別尊

各おのくみなまは皆みな多おほく由よし緒なはの考ふべきものなし

香松寺

大鹿村

曹洞宗 本尊十一面觀世音

大河原字市場に在り遠州知満寺末にて天文七年傳淨崇勢の創立元文六年二月當寺六世の僧元享中興たり明治二十七年内務省より古代建物として保存金五十四を下賜されたり

鹽泉院

曹洞宗 本尊正觀音大士

上伊那郡南向村常泉寺末にて鹿鹽の内字西山に在り万治二年八月常泉寺六世鐵門耕雲を開山として創建せり

香林寺

曹洞宗 本尊正觀音大士

字澤井に在り南向村常泉寺末にて慶長二年の創立なり

宗良親王遺跡

大河原の内字上藏に御所平と稱する地あり、是れ即ち後醍醐天皇第三の皇子宗良親王が南朝復興の志を懐いて三十餘年始終本據の地とし玉ひし遺跡なり、親王は少うして天台座主に補せられ僧形の御身なりしが元弘の亂北條の暴逆に耐へず御弟大塔宮護良親王と三千の衆徒を率て官軍に應じ玉ふ、同二年事敗れて讃岐國宅間に遷せられしが延元二年故ありて遠江國井伊城に在り又伊勢國市の瀬の山中に住玉ふ、此頃復飾して宗良と名乗玉ひしは御年二十五の頃なりき、同年北畠顯家等と共に上洛し吉野行宮に在りしが東國の事沙汰すべき宣旨を蒙り九月伊勢より海路遠江に向ひ海上暴風の難に遇うて辛ふじて白羽港に漂着し井伊の城に入り玉ふ此處に暫く天下の形勢を觀望し玉ひ延元四年の頃には御子興良王と共に駿河國狩野介貞長の許に住まはせられ遙かに父帝の御詔を聞き興國二年六月思ひ立たせて駿河を出發たせ甲斐より信濃に入り諏訪に着き玉ひぬ是れ親王が始めて信濃の地に御趾つけ玉ひたる初なり同五年の頃より香坂高宗等親王を大河原に迎へて侍さまつり夫より多くは此地に住み玉ひ時に或は上野下野美濃越中越後等に勤王の士を索め玉ひ一日として南朝復興の御志を忘れさせ玉ふことなかりしが、時常に利あらず四方勤王の將士も多く敗殘して正平四年には楠正行も四條畷に陣亡し頼む一木の木蔭さへ失ふに至りけり、正平四年新田一

族の請に依り上野國新田の莊に移り玉ひ同七年三月の頃勅使ありて征夷大將軍に叙せられ玉ふ、斯くて新田の族等親王を擁して一度賊を敗りしが尊氏大舉來るに會じ戦ひ且つ敗れ、退いて碓氷に據りしも追撃益々加はり、新田義宗等迎へ戦ふて又敗れ、官軍終に分散して亦如何ともすべからず、義宗は越後に奔り親王は香坂高宗等を卒めて諏訪に退去せられたり、

此年五月足利義詮山城男山の行在所を犯す、天皇詔して東北の兵を召し玉ふ、義宗は越後より親王は信濃より所在勤王の士を督して進發し美濃に至りし頃帝諸軍の上洛を待たずして男山を落ちさせ玉へりと聞き本意なく美濃より引返し、又大河原に入り玉ひぬ、是よりは又此山里に物憂き歳月を送り玉ひ、香坂高宗等が忠節も其かひなく實に

いはで思ふ谷も心の苦しきは、身を埋木と過すなりけり

この痛恨極りなき御連懷を漏らさせ玉へるぞいたはしかりけれ、只此中にいと愛たきは同九年七月此山奥の住居竹園の館に於て第二の御子尹良親王の生れさせ玉へる一事なりき

此頃より正平二十年の頃までは或は北越の邊或は上野沼田の城又は下野落合の城又は諏訪形城に在りて武き心に老軀をも厭はせられず王事に奔走し玉ひける、

同二十三年後村上天皇の御不豫なるや、大河原に御消息して親王と御贈答あり、三月十一日天皇崩御太子立たせ玉ひ長慶天皇と申す、

文中より天授弘和の間親王は一たび吉野に上りて父帝の御陵を参拜し

おなじくは共に見し世の人もかな、戀しきをたに語りあはさん

と懐舊の御涙禁めあへず、再び出で河内國山田に住み玉ひ、後又大河原に還り玉ふ、此頃尹良親王を上野寺尾へ赴かせ玉ふ事あり何とかして、一度び南朝の運を回さんものと思ひ立たせ玉ひ、遠江の國へ赴き美濃尾張を経略し信濃の官軍と相呼應して漸々都に上らんことを諸將に商り、松平高重、脇屋義隆、兒島高春等を率ひて伊井谷城に入り玉ひ元中二年の秋まで種々畫策し玉ひしも事未だ緒に就かずして同八月十七日御心地勝れさせ玉ひ御惱益々重らせ玉ひて終に薨去し玉ひぬ、御年七十三とぞ聞えし後祠殿を建て、宮の英靈を齋す、今の官幣中社伊井谷神社是れなり、

大河原の地は斯の如く南朝の御連枝宗良親王が前後三十餘年根據地と定め給ひて王子王孫まで生れさせ玉ひし舊蹟なれば傳ふべき口碑遺蹟等尠からず、今一二を列記せん

大河原城趾 字上藏に在り、興國中香坂高宗之を築き兩親王居城し玉ひしと稱す、

御經塚 兩親王が法華經の一字を一石に書し勤王殉國の士を弔ひし所なりとて釜澤に在り

千人塚 官軍の戦死者を合葬したる所と稱して字落合に至り

尹良親王の御墳塔 釜澤字佐八幡の境内に在り、九輪にして左右菊桐の紋章中央に梵字を刻せり、元と宮塚と稱する古墳の地に在りしが天明の頃里人此處に移しとなりといふ尹良親王の御墓は波合にも

在りて今は宮内省之を確定して營繕の費を下すこと波合の條に見るが如し、去れど此の釜澤の御墓も亦縁由なしと謂ふべからず、三十餘年竹園の宮居を構へられし所なれば何の時か貴嬪などの御墓と混同せしものか或は親王波合に薨去の後香坂の輩御遺骸を奉じ來つて埋め奉りしものか、今に至つて確たる研究を遂げしものなし

隣王山 福德寺

大河原字上藏に在る藥師堂なり、平治元年名匠竹田與作の工に成りしといふ、上川路開善寺の山門と共に伊那に於ける建築物の最も古きものなり、堂は方丈六尺高さ桁下一丈餘七百年の雨露に浸蝕したれども建造甚だ堅く今に至つて一分の傾きだに見ず、隣王山福德寺の號は宗良親王御父子御祈願の事ありて參籠し玉ひしとき賜はれるなりといふ

鹿 鹽々 泉

古來鹽泉涌出して鹹味甚だ深し、明治十五六年の交より鹽浴場を設け又山鹽を製出す

釜 澤 鑛 泉

赤石山の麓に當り小澁川に沿ふたる所に涌出す、冷泉にして消化器系の病症に効驗あり、



伊那繁昌記

終

明治四十三年八月一日印刷
明治四十三年八月五日發行

定價金貳圓五拾錢

發行兼編輯人 吉川源美

長野縣下伊那郡上郷村五百十八番地内一番

長野縣下伊那郡鼎村五百四十八番地

同 志田啓太郎

長野縣下伊那郡飯田町中ノ町

發行所 擴榮堂

東京市京橋區木挽町二丁目十三番地

印刷人 新井由藏

東京市京橋區木挽町二丁目十三番地

印刷所 新井電新堂

不許複製

※1476
*12

稟 告

本社發行伊那之友は各營業者の廣告を基礎として農工商の機關となり并に文藝を研究し社會事物百般の發展を謀り以て各營業者を本誌營業欄に記載して一般に知らしめんとす故に座右の便之れ以上の物なし殊に毎月定期刊行の本誌は郡下の名士は勿論樞要の個所に配附すべければ其廣告の効力偉大なり依て此際奮つて御申込あらんことを希望す

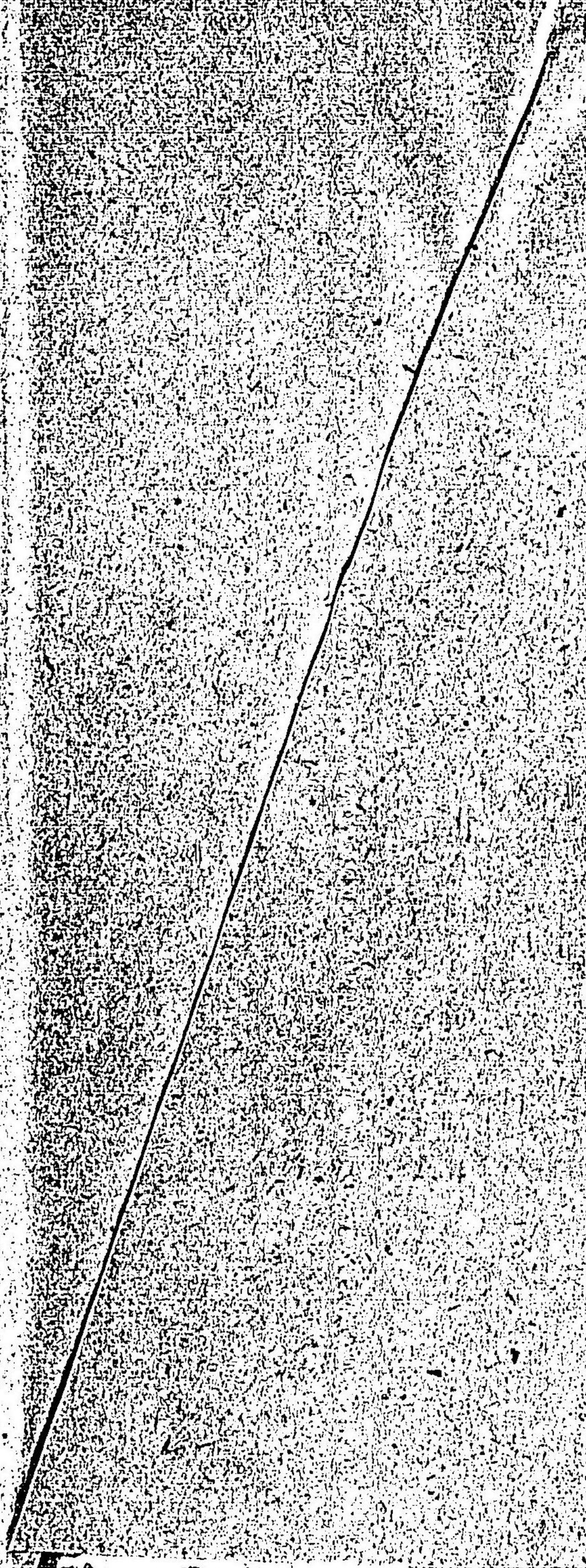
伊那の友雜誌社

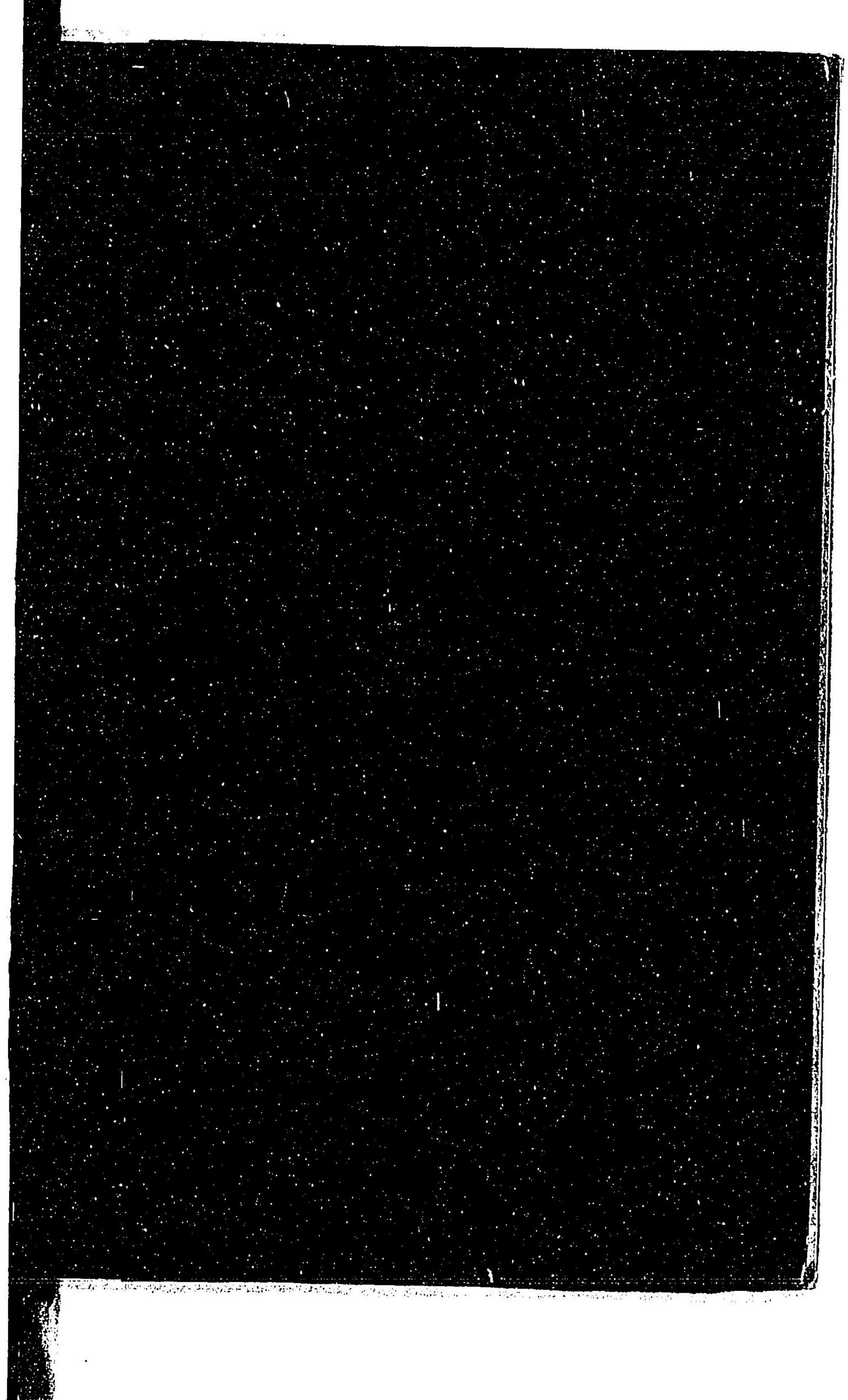
電話百三十四番 使用

主幹 志田啓太郎

19
21

2162
152







024732-000-5

215.2-152

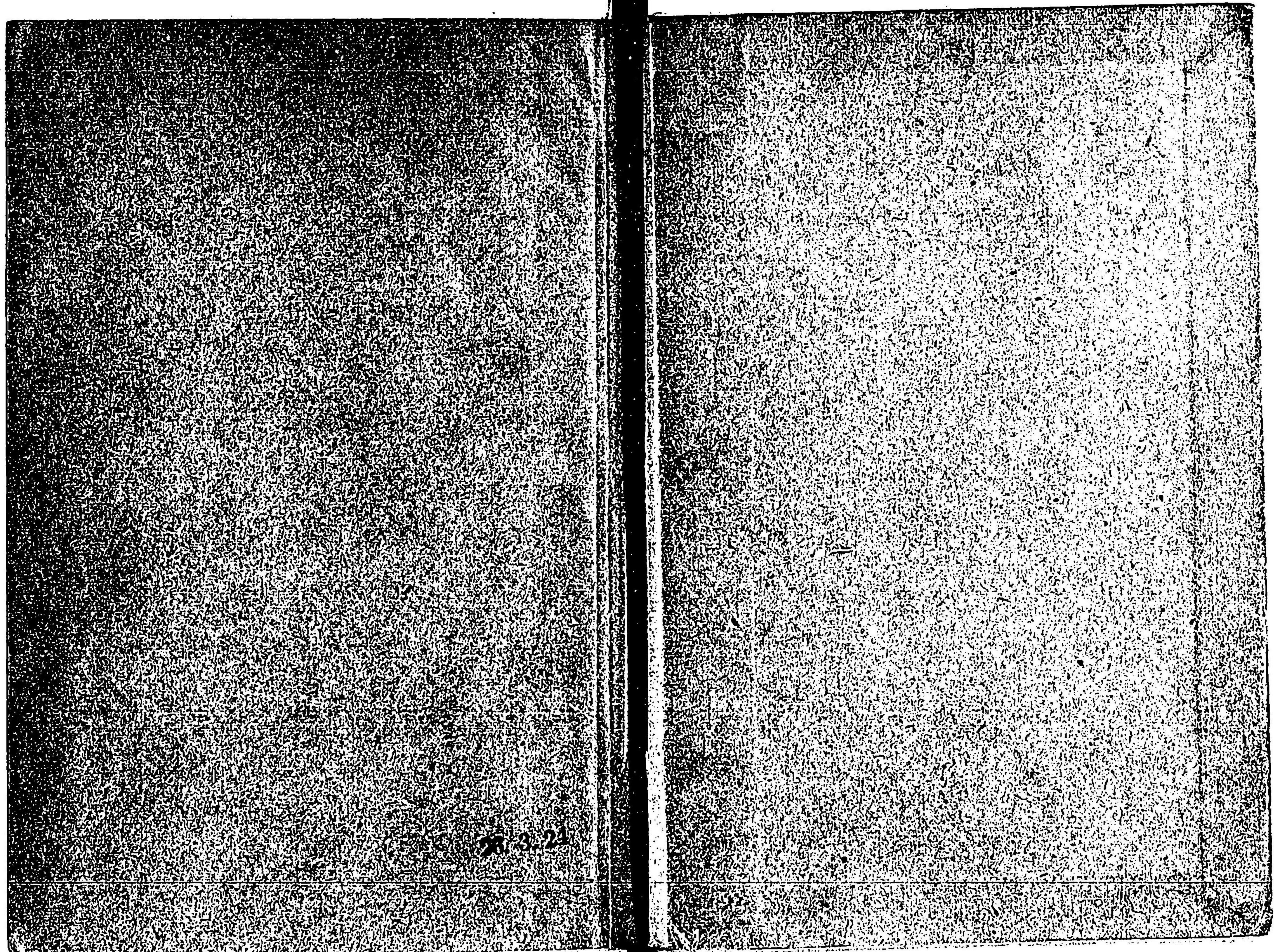
伊那繁昌記

吉川 源美 / 編

M43

ADC-1972





27476
14